

和歌山県学童部県大会 A 級・B 級特別規則

和歌山県軟式野球連盟学童部

1 試合は7回戦とするが時間制を採用する。

A) 試合時間はA級1時間40分、B級1時間30分とする。

(回数はいわない。)優勝戦も同じ。

① 試合時間を超えて新しいイニングに入らない。

② 得点をリードしている後攻チームの攻撃中に試合時間を超えた場合はその時点でゲームを打ち切る。(審判員は、その時の打者の攻撃中にその旨を両チームに通告し、この打者の記録までを有効とする。)

③ 同点でイニングを終了し試合時間を超えている場合は、延長戦を行わず封筒抽選とする。但し、優勝戦は時間内、時間超えを問わずA級は2イニングを限度に、B級は1イニングを限度に特別延長戦を行う。特別延長イニングを終了しても勝敗が決しない場合は、封筒抽選で勝敗を決する。

B) 試合の延長は7回を終了し、試合時間を超えていない場合のみ特別延長戦をA級2イニング、B級1イニングを限度に行うが、A)①、③を適用する。

C) 特別延長戦

継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁とする。すなわち、0アウト一塁・二塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。
なお、勝敗が決しない場合はさらに継続打順でこれを繰り返すこととする。

2 投球制限

一日7イニングまでとする。ただし、タイブレーク方式の直前のイニングを投げ切った投手に限り一日最大9イニングまで投げるができる。タイブレークとなった場合に投げるができる投手は、タイブレーク直前を投げ切った投手か、新たな投手(その日1球も投げていない投手)に限り、一日2イニングまで投げるができる。なお、学童部3年生以下にあっては、一日5イニングまでとする。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、3分の1回(アウト一つ)未満の場合であっても、1イニング投球したものとして数える。

3 得点差によるコールドゲームは5回以降7点差の生じた場合とする。但し、優勝戦は除く。

4 天候気象によるコールドゲームは5回終了をもって正式試合とする。
サスペンデッドゲームは採用しない。

抽選方法

1 審判員は、試合終了時に出場していた両チームの選手を挨拶の状態(守備位置順)に整列させる。監督は自チームの斜め後方に立つ。控えの選手はベンチ前に整列させる。

2 抽選用紙に○印、×印を記入した各9枚を封筒に入れ、球審が先攻側チームより1枚ずつ交互に選ばせる。このとき、一塁塁審は一塁側チームの右翼手、三塁塁審は三塁側チームの右翼手の所へ行く。

3 後攻チームの右翼手が封筒を引いたら、両審判員が回収し両チームの監督立会のもと開封○印の多い方を抽選勝ちとする。

4 勝敗が決した後、全選手を整列(監督はベンチに戻す。)させ、球審が勝利チーム名を呼称するとともに勝った側に片手を上げる。

5 キャプテン握手の後「ゲーム」を宣告する。

その他

プログラム作成のため、全員の写真(手札型)を参加申込書に同封のうえ和歌山県軟式野球連盟あてに郵送すること。(原則20日前)

平成28年7月9日一部改正(C級特別規則分離)

平成31年3月10日一部改正

※追記

今、第49回和歌山県学童選手権大会兼第13回ダイワマルエス杯学童軟式野球大会兼第43回ほっかほっか亭カップ近畿少年軟式野球大会 和歌山県大会
準決勝・決勝戦は70球投球制限を採用いたします。